

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあつては名称) 国立大学法人岡山大学		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号	
本票作成	部署名：国立大学法人岡山大学 安全衛生部安全管理課				
主たる業種	分類コード	81	業種名：学校教育		
事業の概要	国立大学法人として、学部、大学院、附属病院、附属学校園及び研究所等を設置し、従業員数約4700名、学生、生徒及び児童合わせて約15,000名が所属している。				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	鹿田団地		岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
	②	津島団地		岡山市北区津島中一丁目1番1号	
	③	倉敷団地		倉敷市中央町二丁目20番1号	
	④	東山団地		岡山市中区東山二丁目13-80	
	⑤	牛窓団地		瀬戸内市牛窓町鹿忍130-17	
⑥	平井団地		岡山市中区平井三丁目914		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 12 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成 25 年度 ~ 平成 27 年度 (3 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 3.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input type="checkbox"/> 原単位基準							○
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 24 年度)			目標年度 (平成 27 年度)					
	44,553 t CO ₂			43,216 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 24 年度) の排出量					
	①	鹿田団地		31,916 t CO ₂					
	②	津島団地		10,710 t CO ₂					
	③	倉敷団地		1,266 t CO ₂					
	④	東山団地		355 t CO ₂					
	⑤	牛窓団地		106 t CO ₂					
⑥	平井団地		87 t CO ₂						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		CO ₂ / ()	CO ₂ / ()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 24 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

岡山大学では、平成25年3月に国立大学法人岡山大学における地球温暖化対策に関する実施基本計画及び行動計画を策定した。本学が排出する温室効果ガスは、エネルギー起源の二酸化炭素が殆どであり、平成25年度から平成27年度までに基準年度 (平成24年度) の原単位でなく総排出量を、3%削減することを目的としている。この目的に準じ、削減率の設定を行った。

【目標削減率達成のための推進体制】

事業主である学長は、学内規則及び規程等に基づき施策を推進する。また、事業場内を部局（学部、大学院等）という単位に分割し、各部局単位で温室効果ガス削減のための管理体制を構築及び運用し、責任を持って計画を推進する。目標達成の計画の策定及び実施状況については、本学環境マネジメント委員会及び各部局における関連委員会において毎年度検証を行い、必要に応じて施策を見直し、目標達成に努めている。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
全事業場	地球温暖化対策啓発のためのポスター、ステッカーの作成及び配布、空調設定温度目安設定、クールビズ・ウォームビズ励行、Hf型照明器具に変更
鹿田団地	建物改修時において、①統合による変圧器の廃止、②Hf型照明器具に更新、③ボイラーの更新（燃料種の変更：A重油→都市ガス）、④スクリー冷却機の更新、⑤BEMS導入、⑥エアコンの更新、⑦蒸気バルブ類の保温
津島団地	建物改修時において、①Hf型照明器具に更新、②変圧器の更新、③ビル用マルチエアコンの更新、太陽光発電の導入（本部棟）、学部における太陽光照明導入、緑のカーテン活用
倉敷団地	照明器具及び空調機器の更新、節電、人感センサー導入、屋上緑化

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
全事業場	地球温暖化対策啓発（継続）、Hf型照明器具等に更新（継続）、空調の更新（継続）
鹿田団地	統合による変圧器の廃止（継続）、ターボ冷凍機（水蓄熱システム）の更新、水冷式ヒートポンプエアコンの更新、蒸気バルブ類の保温（継続）、BEMS解析による対策（継続）
津島団地	変圧器の更新（継続）、ビル用マルチエアコンの更新（継続）、吸収式冷温水発生器の更新
倉敷団地	古い機器の更新、屋上緑化・壁面緑化（継続）

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

大学としての事業活動の一環として、地球温暖化対策に係わる環境分野において、高い能力と人格を備えた人材を育成するための教育及び関連研究を推進している。

毎年「環境・安全ガイドブック」、「講義冊子」及び「環境報告書」等を作成し、地球温暖化対策の重要性及び事業活動に伴う環境負荷の状況と対策等について教育している。構成員には環境負荷低減について周知を行い、事業活動に支障のない範囲でエネルギーの無駄な使用がないように指導を進めている。

「国立大学法人岡山大学における地球温暖化対策に関する実施基本計画」及び「国立大学法人岡山大学における地球温暖化対策のための行動計画」を公開している。

<http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/consid-er.html>